

評価規準 音楽

6年

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	評価規準例		歌唱
〈導入〉 「つばさをください」 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。	○
	(2) 旋律や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○
(3) 歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	
〈スキルアップ〉 ワイバンバ (毎時扱い)	(1) 曲想と、旋律や音楽の縦と横との関係など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や音楽の縦と横との関係などの音楽の構造との関わりについて、それらのよさや面白さなど関わらせて理解している。	○
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○
(3) 声が重なる面白さや美しさなどに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声が重なる面白さや美しさなどに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	
〈スキルアップ〉 言葉をもとにリズムで遊ぼう (2時間+毎時扱い)	(1) リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能	リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなど関わらせて理解している。	
			思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。	
	(2) リズム、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	リズム、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	
(3) 言葉をもとにしてリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	言葉をもとにしてリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		
	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った		曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。	○

評価規準 音楽

6年

『小学音楽 おんがくのおくりもの6』

<p>〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「おぼろ月夜」(共通教材)</p> <p>(2時間扱い・4月)</p>	<p>表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。</p>	知識・技能	<p>思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。</p>	○
	<p>(2) 旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	思考・判断・表現	<p>旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	○
	<p>(3) 歌詞や旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、日本のうたに親しむ。</p>	主体的に学習に取り組む態度	<p>歌詞や旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>	○
<p>1 短調のひびき</p> <p>(3時間扱い・4~5月)</p>	<p>(1) 曲想と調など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。</p>	知識・技能	<p>曲想と調など音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調やイ短調の楽譜を見て、歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。</p>	○
	<p>(2) 調、和音の響き、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いたりする。</p>	思考・判断・表現	<p>調、和音の響き、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いたりしている。</p>	
	<p>(3) 長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、音楽に対する感性を育む。</p>	主体的に学習に取り組む態度	<p>長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>	
<p>2 アンサンブルのみりよく</p> <p>(5時間扱い・5~6月)</p>	<p>(1) 曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付ける。</p>	知識・技能	<p>曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付けている。</p>	○
	<p>(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	思考・判断・表現	<p>旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	○
	<p>(3) 演奏者の思いを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、オーケストラの音楽に親しむ。</p>	主体的に学習に取り組む態度	<p>演奏者の思いを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>	○
<p>〈めざせ 楽器名人〉</p>	<p>(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。</p>	知識・技能	<p>曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりや、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。</p> <p>思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。</p>	

評価規準 音楽

6年

『小学音楽 おんがくのおくりもの6』

<p>「The Sound of Music」 (毎時扱い・6～7月)</p>	<p>(2) 旋律やフレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>思考・判断・表現</p>	<p>旋律やフレーズなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p>	
<p>〈にっぽんのうた みんなのうた〉 われは海の子 (共通教材) (2時間扱い・7月)</p>	<p>(3) 声部の役割や全体の響きを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダー・アンサンブルに親しむ。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>声部の役割や全体の響きを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>	
<p>(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。</p>		<p>知識・技能</p>	<p>曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。</p>	<p>○ ○</p>
<p>(2) 旋律や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p>		<p>思考・判断・表現</p>	<p>旋律や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>○</p>
<p>(3) 歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。</p>		<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>○</p>
<p>3 せん律のひびき合い (4時間扱い・9月)</p>	<p>(1) 曲想と旋律や音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付ける。</p>	<p>知識・技能</p>	<p>曲想と旋律や音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響きを聴きながら演奏する技能を身に付けている。</p>	
<p>(2) 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。</p>		<p>思考・判断・表現</p>	<p>音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p>	
<p>(3) 旋律の重なりや響きを味わいながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多声音楽に親しむ。</p>		<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>旋律の重なりや響きを味わいながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>○</p>
<p>4 音楽のききどころ (3時間扱い・10月)</p>	<p>(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。</p>	<p>知識</p>	<p>曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。</p>	
<p>(2) 音色や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だして聴く。</p>		<p>思考・判断・表現</p>	<p>音色や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だして聴いている。</p>	
<p>(3) 楽器同士の関わり合いや、曲想を捉えて聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、バイオリンとピアノのアンサンブルに親しむ。</p>		<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>楽器同士の関わり合いや、曲想を捉えて聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>	
<p>(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。</p>		<p>知識・技能</p>	<p>曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。</p>	<p>○ ○</p>

評価規準 音楽

6年

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』

5 豊かな表現 選択A 歌唱 (3時間扱い・10～12月)	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○
	(3) 声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ジャズをもとにした音楽や器楽合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○
5 豊かな表現 選択B 器楽 (3時間扱い・10～12月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	【知-①】 「L-O-V-E」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりについて理解している。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けている。	
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	【思-①】 「L-O-V-E」の、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	
	(3) 声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ジャズをもとにした音楽や器楽合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	【主-①】 声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	
〈音のスケッチ〉 じゅんかんコードをもとにアドリブで遊ぼう (2時間扱い・12月)	(1) 和音と旋律との関わりや、和音や旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付ける。	知識・技能	和音と旋律との関わりや、和音や旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解している。 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に旋律を変化させて表現する技能を身に付けている。	
	(2) 和音の響きや旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得る。	思考・判断・表現	和音の響きや旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得ている。	
	(3) 和音と旋律との関わりや、繰り返す和音進行をもとに即興的に表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、循環コード(繰り返す和音進行)の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	和音と旋律との関わりや、繰り返す和音進行をもとに即興的に表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	
	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の声や音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏したりするう技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。	○
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の声や音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○

評価規準 音楽

6年

『小学音楽 おんがくのおくりもの 6』

6 世界の音楽 (4時間扱い・1月)	(2) 旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい 表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて 思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたり する。	思考・判断・ 表現	旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出 すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どの ように演奏するかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見い だして聴いたりしている。	
	(3) 諸外国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの 関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体 的・協働的に学習活動に取り組み、多様な音楽やその表現に親 しむ。	主体的に学習 に取り組む態 度	諸外国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりにつ いて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活 動に取り組もうとしている。	
7 日本の音楽 (4時間扱い・1月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解 するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、 呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌 い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付 けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて いる。	○
	(2) 旋律、音色、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが 生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい 表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや 意図をもったり、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴い たりする。	思考・判断・ 表現	旋律、音色、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよ さや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見出し、曲全体を味わって聴い たり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏す るかについて思いや意図をもったりしている。	○
	(3) 我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽し みながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の音楽 に親しむ。	主体的に学習 に取り組む態 度	我が国に伝わる音楽や楽器に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、 主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	
8 思いをこめた表現 選択A 「ふるさと」+器楽 (3時間扱い・2~3月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容 との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った 表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴い て、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わり について理解している。 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、 伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○ ○
	(2) 旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りなが ら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考 え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏する かについて思いや意図をもつ。	思考・判断・ 表現	旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き 取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考 え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図を もっている。	
	(3) 曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽し みながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活 動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるも のにしようとする態度を養う。	主体的に学習 に取り組む態 度	曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、 1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうと している。	
8 思いをこめた表現	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容 との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った 表現をするために必要な、各声部や全体の響き、伴奏を聴い て、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わり について理解している。	○
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の響き、 伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○

評価規準 音楽

6年

『小学音楽 おんがくのおくりもの』

6』

選択B 「ふるさと」+歌唱

(3時間扱い・2~3月)

(2) 旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。

思考・判断・表現

旋律や音色などを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

○

(3) 曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

主体的に学習に取り組む態度

曲想を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

○

〈音のスケッチ〉
役割を決めて音階をもとにした音楽をつくろう

(3時間扱い・3月)

(1) 音階や、フレーズのつなげ方や重ね方の特徴を、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付ける。

知識・技能

音階や、フレーズのつなげ方や重ね方の特徴を、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。

発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能や、音楽の仕組みをもとに音楽をつくる技能を身に付けている。

(2) 音階や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。

思考・判断・表現

音階や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。

(3) 役割や音階の面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、全音音階や黒鍵だけの五音音階に親しむ。

主体的に学習に取り組む態度

役割や音階の面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈ジャズとクラシック音楽の出会い〉
ラプソディー イン ブルー

(2時間扱い・随時)

(1) 曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解する。

知識

曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解する。

(2) 旋律やリズム、音色、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさや楽しさを見いだして聴く。

思考・判断・表現

旋律やリズム、音色、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさや楽しさを見いだして聴いている。

(3) ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ピアノとオーケストラによる音楽に親しむ。

主体的に学習に取り組む態度

ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

○		
○		
○		○
○		
		○
		○
		○
○		
○		

○		
○		
		○
○		
○		
		○
		○
		○

○		
○		
○		
○		
	○	
	○	
	○	
	○	
		○
○		

○		○
		○
		○
○		○
		○
○		
○		

	○	○
	○	
	○	○
	○	
		○
		○
		○